

支所発地域力向上支援金事業実施報告書(自己評価)

令和5年10月17日

事業実施地区	五分一区
事業名	五分一区自主防災会備品整備事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 五分一区 (代表者名) 区長 原 保則

■ 事業概要(選考委員会の助言を含む)

<p>【課題】 火災発生時に、迷うことなく消火器を手にし、初期消火ができるように区民に周知する。</p> <p>【必要性】 令和5年現在、区内には52か所の消火器が各所に設置してあるが、火災発生時に迷うことなく消火器を手にすることが出来るか疑問である。そのため区民が必ず利用する場所、ごみボックスの外壁に設置したい。「ごみボックスに行けば消火器がある」これは区内の31棟のごみボックス内の火災にも対応できる。</p>	<p>【事業完了日】 令和5年10月17日</p> <p>【総事業費】 123,390円</p> <p>【補助金額】 100,000円</p>
--	---

※ 活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■ 事業効果(目的の達成度・地域への貢献度等について)

<p>令和5年度五分一区事業計画で自主防災による、防火、防災の意識啓蒙として、区内配置の消火器・格納箱の点検整備を行い、必要に応じて新しく設置する計画に従い今回、区内31棟のごみボックスの内、令和5年度事業として、9か所のごみボックスに設置した。</p> <p>区民への周知は、五分一区総会議案また「回覧」とし、区民の声として「ごみボックスへの設置は必ず「目」にする場所であり、火災発生時の緊急対応として、大変ありがたい」と評価されている。</p>
--

■ 自己評価(該当欄に○)

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	<p>・区民からの評価も大変良好であり、「感謝」されている。家庭内で子どもにも「もし火事になったらごみボックスに行けば、消火器があるよ」と話し合ったそうです。これは、区民全員が防災に感心を持っていただき減災意識の集団啓蒙の推進に非常に役立った。</p>			

■ 今後の取り組み予定

<p>・区内には31棟のごみボックスがあり、令和5年度は9か所設置した。残り22か所は次年度に引き継ぎ、3年計画で全てのごみボックスに消火器を設置したい。</p>

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）（写真）



ごみボックスNO, 36

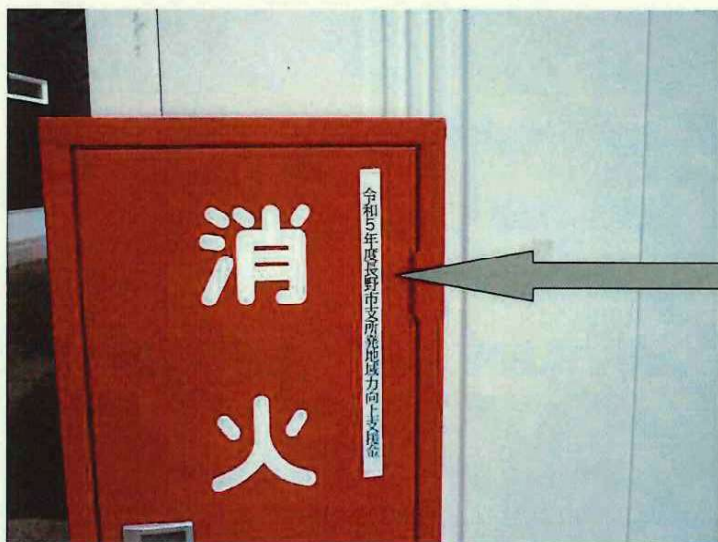
令和5年度長野市支所発地域力向上支援金
シール



ごみボックスNO, 24



ごみボックスNO, 31



令和5年度長野市支所発地域力向上
支援金 シール



ごみボックスNO, 1



ごみボックスNO, 30



ごみボックスNO, 29



ごみボックスNO, 27



ごみボックスNO, 20



ごみボックスNO, 19

支所発地域力向上支援金 事業評価(古牧支所)

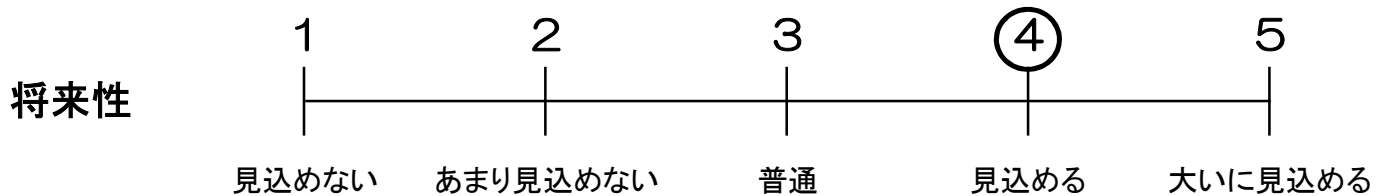
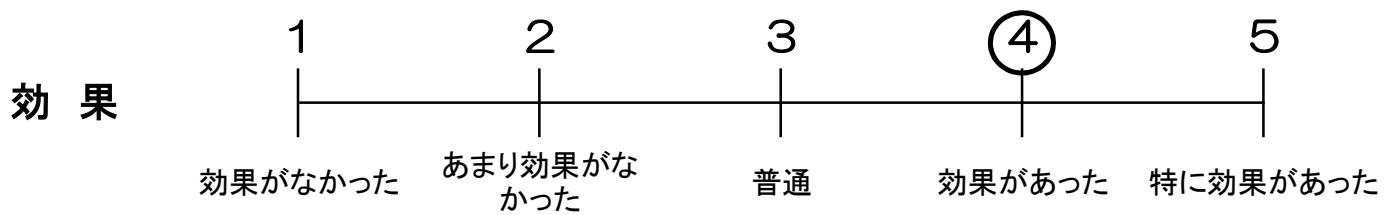
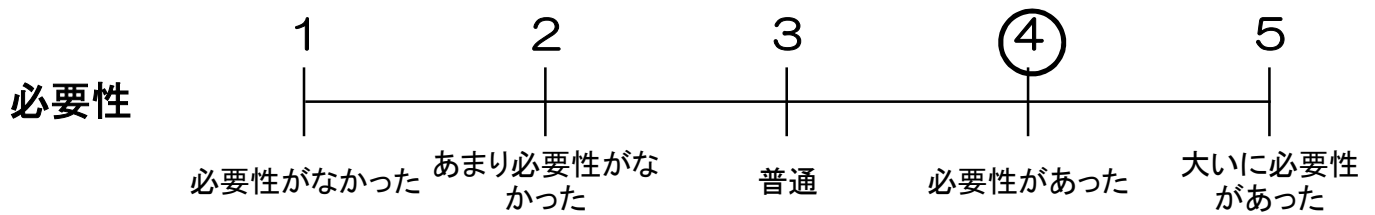
令和5年10月17日

事業名	五分一区自主防災会備品整備事業
-----	-----------------

団体名	五分一区
-----	------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	安全・安心活動
------	---------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

火災が発生した際に延焼を防ぐためには、発生初期段階で火元を消すことが重要になる。

ごみ集積所に消火器が設置されたことで、区民による速やかな初期消火が可能になり、延焼の防止につながることを期待できる。

今後は、消火器の取扱い方や効果的な消化方法などの実践訓練を踏まえながら、万が一の火災に備えていただきたい。

また、消火器等を定期的に点検し、期限切れ等が起こらないように維持管理を徹底していただきたい。